

おきみゅー通信

Okinawa Prefectural Museum & Art Museum News Letter

vol.06

冬号

「おきみゅーちゃん」です！

はじめまして！

よろしくみゅー!!



「愛称がおきみゅーになりました」



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

当館に愛称とマスコットキャラクターが誕生しました!!!!

これから、色々な場面で当館の魅力を積極的にPRしていきます。
みなさん応援よろしくお願いします \ (o^o) /

〔キャラクター〕

おきみゅー

おきみゅープロフィール

名前: おきみゅー 誕生日: 11月1日
年齢: 不詳 性別: 不詳
性格: 好奇心旺盛、遊び好き 口ぐせ: 「…みゅー♪」
好きなこと: チュンジー (アマ大会準優勝)、
埋蔵文化財の発掘調査、美術館めぐり、
カチャシー
好きな食べ物: 沖縄そば、にんじんしりしりー、
豆腐ちゃんぽん、ちんすこう

〔館の愛称〕

Okimu おきみゅー

おきなわ (Okinawa) のミュージアム (Museum) の
略称でOkimu (おきみゅー)。
みゅーの響きで可愛らしく親しみやすさを表現しました。

〔一般公募作品の中から決定〕

昨年11月1日に開館10周年という節目を迎え、
より県民のみならずや沖縄に観光で訪れる方
に身近で愛される施設となるように、「愛称」
と「マスコットキャラクター」を一般公募しま
した。

「教育普及」って どんなことしているの？

美術館編

学芸員のサポートやボランティアスタッフ
の勉強会、ワークショップの企画運営など、博物館や
美術館と「人」をつなぐ架け橋になるような活動をして
います。なかでも美術館が特に力を入れているワーク
ショップについて、企画から実施までの流れ
を紹介します。



教育普及担当
保久村さん

博物館や美術館
を支える学芸員には、
研究や展示をつくるだけでなく、
来館者にその魅力や楽しみ方
を伝える「教育普及」という
お仕事もあります。

ふれあい 体験室編

今回はミュージアムキッズ
クラブの裏側を紹介
します。

ワークショップ修了作品展

2018年3月6日 (火) から11日 (日) まで県民ギャラリーで開催。
1年間、色々なことに挑戦した子ども達の作品を楽しんでください。

写真はワークショップの様子

自分の作品について堂々
と発表する子ども達。この瞬間が何より
嬉しく、一番やりがいを感じます。

作品発表

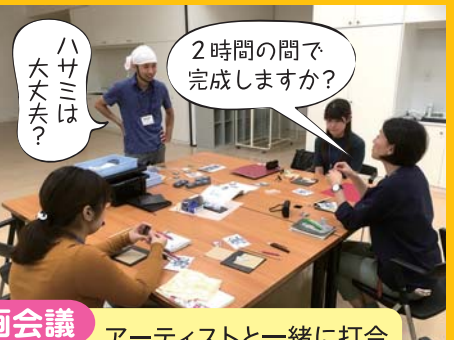
きれいな色に
染まりましたね!

企画会議

アーティストと一緒に打合
せを重ね、「美術館だから出来る事」を
意識したワークショップを考えます。

イベント実施

制作に集中し
始めると会場が静まり返ります。



ハサミは
大丈夫?
2時間の間で
完成しますか?



こだわりの
作品が完成!

ふれあい体験室の ワークショップができるまで!

開館10周年記念 特別展関連 Ver.

絵・文 ふれあい体験室担当・ヒビ

① 展示会の見学
今回の秋冬ワークショップは
「海の沖縄」展関連催事。
展示会の内容に沿った
プログラムにするため
展示を見て勉強します。

ふれあい体験室の
ワークショップは
持ち帰れる体験学習を
コンセプトにプログラムを
組んでいます。
一つのプログラムができる
までに色んな工程を
経ていきます。

③ 学芸員と調整
監修してもらう学芸員
と一緒に内容を詰めて
いきます。
ここでワークショップの
内容が確定します。

② アイデア出し
教育普及班で
案を出しあいます。
構想が固まるまで
何度も打ち合わせを
行います。

次回予告
「海へのおかれ
く波もようの
オリジナルグッズを
作るうー」(仮)
えうう期待!

④ 試作練習を重ねる
一緒にワークショップを行う
ふれあいスタッフと勉強会
を行います。
ワークショップの趣旨や
流れを全員で確認します。

海 の 沖 縄

開かれた海への挑戦

開館10周年記念特別展

現在開催中の特別展「海の沖縄」では海をテーマに様々な切り口で展示を行っています。見るべき展示物は多くありますが、その中でも明の皇帝から尚泰久王への勅書や琉球使節が江戸上りの際に奉納した清見寺の漆器類などの文化財、那覇が浮島だった頃の模型、石垣島の水中遺跡再現模型など、初公開の展示物にも注目です。閉幕間近ですがぜひご観覧ください。

開催中 — 1/14日 2018

博物館 企画展示室・特別展示室1.2
一般 1,000(800)円、高校・大学生 600(480)円、小・中学生 300(240)円
※本展観覧券で「博物館常設展」もご覧になれます



16世紀の那覇並びに那覇湊模型

博物館常設展示

ここを見れば沖縄まるわかり!

海と島に生きる

— 豊かさ、美しさ、平和を求めて —

博物館 常設展示室

一般410(330)円、高校・大学生260(210)円、小・中学生150(120)円
※本展観覧券で「大嶺薫コレクション展」もご覧になれます

島のなりたちや先史時代から現代までの沖縄がまるわかり。今でこそ日本の一地方として語られる沖縄ですが、固有の風土や独自の歴史を歩んだゆえに本土とは異なる様々な文化や芸術、風習が培われてきました。「総合展示」と「部門展示(自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗)」において常時約3千点の資料を通じ、ビギナーでもリピーターでもそれぞれに沖縄への新たな発見や理解を深めるきっかけを提供します。

※部門展示では年4回程度展示資料を入れ替えています



「かざる」美に注目!

大嶺薫コレクション展



尚育王書

故大嶺薫が収集したコレクションを紹介するため毎年テーマを変えて開催しています。今年のテーマは「かざる」。人は日々の暮らしの中で様々な飾りに趣向を凝らしてきました。身を飾るものから場を飾るものまで各分野の資料を紹介しながら、大嶺が追求した美の世界を展覧します。



台湾原住民族の頭飾り

2/1 — 3/11日 2018

博物館 特別展示室1
※「博物館常設展」観覧券でご覧になれます

移動展 in 北大東島

当館では、離島や遠隔地の方々にも博物館・美術館を身近に感じてもらうために、毎年移動展を開催しています。今年度は北大東島。当館の新館オープン10周年を記念して「海」をテーマとした特別な展示会です。どうぞお楽しみに!

2/23 — 25日 2018

北大東村人材交流センター・民俗資料館 入場無料



大迫力! サウロロフスの全身骨格像。高さは5m近くあります。

県内の作家さんによる製作イベントを実施。



様々な体験キットを用意。子どもも大人も参加しよう!

開館10周年を記念し、
美術館で「交流」をテーマに
2つの展覧会を開催

開催中 — 2/4日 2018

邂逅の海

— 交差するリアリズム —

沖縄、台湾の多彩な表現は必見!

美術表現の多様性をテーマに、現代の沖縄・台湾・ベトナムなどの作品を展示。描画と撮影の反復による「ドローイング・アニメーション」の作品を制作する石田尚志、映像や写真などを用いて沖縄の姿に肉迫してきた山城知佳子、台湾の社会問題を題材に映像表現を行う袁廣鳴(ユエン・グアンミン)ら19名、1組を紹介しします。



山城えりか《vortex》2007-2011年

美術館企画ギャラリー1.2

一般 1,000(800)円
高校・大学生 600(480)円
小・中学生 300(240)円
※本展観覧券で「彷徨の海」もご覧になれます

お得な記念チケットも
販売しています!
[~1月14日まで販売]

「博物館常設展」「海の沖縄」
「彷徨の海」「邂逅の海」が
お得な料金で観覧できます。



一般1,800円、高校・大学生1,080円、小・中学生540円
おトクなクーポン付き!



彷徨の海

旅する画家・南風原朝光と
台湾、沖縄

沖縄と台湾の美術動向の
歴史をひもとく

日本・台湾で作品を発表した画家、南風原朝光(はえばるちようこう)の《風景》(1930年)や、台湾に生まれ、二・二八事件で命を落とした画家、陳澄波(ちんとうは)の《東京府美術館》など展示。日本統治下の台湾で行われた官展「台湾美術展覧会(台展・府展)」にゆかりのある作家を振り返ります。



南風原朝光《風景》1930年

コレクションギャラリー1.2.3
一般 310(250)円、高校・大学生 210(170)円、
小・中学生 100(80)円 ※本展観覧券で「邂逅の海」はご覧になれません

沖縄県立芸術大学・ 大学院造形芸術研究科 第29回 卒業・修了作品展

沖縄県立芸術大学美術工芸学部・同大学院では卒業・修了作品展を開催します。学生たちの研究成果をより多くの方々に観ていただこうと、絵画・彫刻・デザイン・工芸・芸術学の作品約80点を展示し、作品鑑賞会やワークショップの開催など、未来を担うこもたちの育成や地域の方々との交流を進めます。



2/14 — 18日 2018
企画ギャラリー1.2
県民ギャラリー 入場無料
主催:沖縄県立芸術大学

大和コレクションⅧ

「大和(だいわ)コレクション」とは、日本有数の現代美術コレクターから当館に寄託(一定の期間借用)された作品群です。その内容は、アントン・ヘニングや村上隆、照屋勇賢など世界的に評価の高い国内外の現代美術作家による平面、立体、写真、陶芸など多岐にわたります。本展覧会では、その中から作品を選びずぐり展示します。



照屋勇賢
《For the World to Come》
2004年



アントン・ヘニング
《Quadrinom No.4》
2005年

コレクションギャラリー1.2
※画像と展示作品は異なる場合があります

2/23 — 6/24日 2018

沖縄美術の流れ〈後期〉

沖縄にはその風土や歴史から生まれた独特な文化があり、美術も時代や置かれた状況に大きく影響されながら培われてきました。コレクションギャラリー3では、「沖縄美術の流れ」として、戦前、戦後復興、本土復帰後、そして現代に章を分け、沖縄の近現代美術を時系列で紹介していきます。前年度収集した安次嶺金正《紅い布と少女》は必見です。

コレクションギャラリー3

一般 310(250)円
高校・大学生 210(170)円
小・中学生 [県外]100(80)円 [県内]無料



安次嶺金正《紅い布と少女》
1948年

旧正月はOkimuへ行こう!

featuring 護得久榮昇 2/16金・17土・18日

〔旧暦1月1日、2日、3日〕

沖縄では新暦のお正月と同じくらい大事にされている「旧正月」。そんな旧正月をおきみゅーでお祝いし、沖縄の正月文化について理解を深めましょう! 16日と18日は護得久榮昇先生もやってきます!

護得久榮昇 書き初めライブ

無料

2/16金

「アツチャメ!」って
書きなさい。分かるよねえ。

時間 14:00～14:30(予定)
場所 エントランス



民家でぶくぶく茶を楽しもう!!!

2/17土・18日

時間 10:00～11:00(お茶たて体験)
場所 博物館屋外展示 民家
お茶たて体験参加方法
事前申込制 ※当日9:00より総合案内で受付開始

参加費 1,000円 定員 〔各日〕15名 ※12:00からぶくぶく茶の販売もございます(有料)

旧正月を祝って
ぶくぶく茶を
いただきます。
お茶たても
体験してみよう!



沖縄の民話のかたり

無料

2/17土

時間 11:00～12:00(開場10:45)
講師 NPO法人沖縄伝承話
資料センターのみなさん
場所 美術館講座室 定員 当日先着50名



トコトコ歩くイヌのおもちゃづくり

2/18日

時間 ①11:00～/②13:00～/③15:00～
※所要時間約1時間
講師 上運天先生とおもちゃの会ピノキオのみなさん
参加費 500円 場所 正面玄関入口
定員 各回当日先着30名 ※当日9:00より総合案内で受付開始



正月のお飾りの展示

無料

2/16金・17土・18日

首里城のお正月
飾りを展示します

場所 エントランス



展示解説会 沖縄のお正月について

2/18日

時間 15:45～16:15(15:40に常設展入り口に集合)
講師 大湾ゆかり(当館学芸員 民俗担当)
場所 博物館常設展示室(民俗部門)
参加方法 当日先着順、当日有効の博物館常設展の観覧券が必要です

展示資料を見ながら
沖縄のお正月に
ついて解説します

みるく神のお面作り

2/17土

時間 ①13:00～/②14:00～
参加費 100円
場所 エントランスホール
定員 各回当日先着30名
※当日9:00より総合案内で受付開始



講座 首里城のお正月

無料

2/18日

時間 11:00～12:00(開場10:30)
講師 首里城公園 学芸員
場所 博物館講座室
定員 当日先着100名

首里城で行われた
お正月について
解説します



旧正月は
おきみゅーに
遊びに来てね!?



その他イベント情報

博 博物館のイベント

美 美術館のイベント

指 指定管理者のイベント

1-3月

※日程やタイトルなど変更する場合があります。当館開催場所や参加費などの詳細情報はHP・チラシでお知らせいたします。

指 ふれあい体験室ワークショップ

「海へのあこがれ ～波もようトートバックを作ろう!～」

〔時間〕1回目10:00 2回目10:30
3回目11:00 4回目11:30 ※所要時間30分
〔開催日〕毎週土曜日 〔場所〕エントランス
〔対象〕5才から大人まで〔参加費〕各回300円
〔定員〕当日先着40名(各回10名) ※9:00から当日全ての回を受付



博 常設展展示解説会

無料

展示物の魅力を担当学芸員が伝えます。

歴史部門 1/11木 民俗部門 2/8木 教育普及部門 3/8木

〔時間〕14:00～15:00(13:55 ふれあい体験室前集合)
〔定員〕なし ※当日有効の博物館常設展の観覧券が必要です

博 文化講座

無料

2/17土 「科学分析から見えてくる琉球の美術工芸」

〔講師〕早川泰弘 氏(東京文化財研究所保存科学研究 副センター長)

3/17土 「中国陶磁器について(仮)」

〔講師〕森 達也 氏(沖縄県立芸術大学教授)

〔時間〕14:00～16:00(開場13:30) 〔場所〕講堂 〔定員〕当日先着200名

博 体験学習教室

無料

3/4日 「サンゴウィーク関連催事」

※詳細は当館HPをご覧ください、電話でお問合せください

博 バックヤードツアー

無料

普段は見ることのできない博物館の裏側を学芸員が案内します。

美術工芸部門 1/27土 美術工芸部門 2/24土 考古部門 3/10土

〔時間〕14:00～15:00(13:55ふれあい体験室前集合)
〔場所〕博物館バックヤード 〔定員〕当日先着12名(9:00から総合案内にて受付)

博 学芸員講座

無料

考古 1/13土 「倭寇対策の城ー約500年前に湊や村を倭寇からどのように守っていたのかー」

美術工芸 2/3土 「新人学芸員の日常と研究ー美術工芸入門編ー」

〔時間〕14:00～16:00(開場13:30) 〔場所〕博物館講座室 〔定員〕当日先着80名

地学 3/3土 「ジオツアー嘉陽層の褶曲(国指定天然記念物)を見に行こう」

事前募集 〔対象〕小3～大人 〔定員〕20名



福建省大京城堡



嘉陽層の褶曲

博 ボランティア展示解説ガイド

無料

〔開催日〕毎週水・金・日曜日 〔時間〕14:00～17:30
〔場所〕博物館常設展示室
※当日有効の博物館常設展の観覧券が必要です



美 美術館開館10周年記念展

「映像アーカイブと沖縄③ 台湾映画上映会」

1/13土 〔時間〕13:30～(開場13:00) 〔場所〕講堂 〔定員〕当日先着200名

〔上映作品〕
日曜日の散歩者

わすれられた台湾詩人たち
(2015年、162分、監督・黄亜歴(ホアン・ヤーリー))



©2015 Roots Films Ffifsa Media All Rights Reserved.

〔映画と展覧会を楽しむトークショー〕
トーク・真喜屋 力 氏(シネマ沖縄プロデューサー)、豊見山 愛(当館学芸員)
※講師が変更する可能性があります

美 美術館開館10周年記念展

「アーティストトーク」 1/20土

〔時間〕14:00～16:00 〔場所〕企画ギャラリー
〔講師〕山城えりか氏、平良優季氏、金城 徹氏(出演アーティスト)
※企画ギャラリー内は当日有効の企画展の観覧券が必要です

美 第4回 ミュージアムツアー

無料

1/27土

〔時間〕10:30～12:00 〔場所〕美術館バックヤード・コレクションギャラリー
※1ヶ月前から来館・電話にて受付開始
※コレクションギャラリー内は当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要です

美 美術館開館10周年展記念シンポジウム

2/3土 〔時間〕13:30～17:00(開場13:00) 〔場所〕講堂 〔定員〕当日先着200名

〈第1部〉基調講演

廖新田 氏(台湾芸術大学教授・人文学院院长、台湾芸術史研究学会理事長)
豊見山 愛(当館学芸員)

〈第2部〉翁長直樹 氏(美術評論家/元美術館副館長)

前田比呂也 氏(上山中学校/前美術館副館長) ※講師が変更する
ファシリテーター: 池原盛浩(美術館副館長) 可能性があります

美 美術館開館10周年記念展

「アーティストトーク2」 2/4日

〔時間〕14:00～16:00 〔場所〕企画ギャラリー
〔講師〕Las Barcas メンバー(出演アーティスト)
※企画ギャラリー内は当日有効の企画展の観覧券が必要です

美 第5回 学芸員講座

無料

2/17土

〔講師〕島崎 格(当館学芸員) 〔時間〕14:00～15:30(開場13:30)
〔場所〕美術館講座室・コレクションギャラリー 〔定員〕当日先着50名
※コレクションギャラリー内は当日有効の美術館コレクション展の観覧券が必要です
※詳細が決まり次第第HPでお知らせします

〔開館時間〕 9:00～18:00（金曜日・土曜日は20:00まで）

※入館は閉館30分前まで

〔休館日〕 月曜日（月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌平日が休館）

館内消毒休館（2月19日～22日）

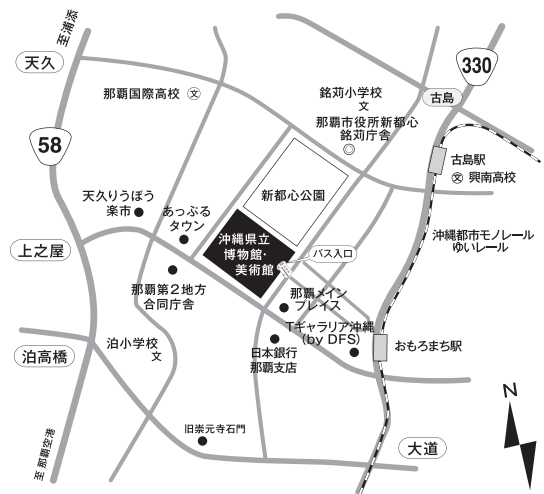
※休館日は変更することがあります

アクセス | 駐車場は台数が限られておりますので、
 できるだけ公共交通機関をご利用ください。

〔バス〕那覇空港発99番線 おもろまち3丁目バス停下車〈徒歩5分〉
 120番線 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
 市内線 3.7.10番線 県立博物館前バス停下車
 6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車〈徒歩5分〉
 市外線 バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車〈徒歩10分〉
 国道58号経由 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
 おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車〈徒歩3分〉

〔沖縄都市モノレール〕ゆいレール おもろまち駅下車〈徒歩10分〉

〔ホームページ〕 <http://www.museums.pref.okinawa.jp>



編集後記 | 新年あけましておめでとうございます。当館の
 新愛称「OkiMu（おきみゅー）」にちなみ、本誌
 タイトルは本号より「おきみゅー通信」に変わりました。一般公
 募により館の愛称256点、マスコットキャラクターは862点もの
 応募をいただきました！たくさんのご応募ありがとうございます。
 今年の干支は何かと縁起が良いと言われる戌（「ラッキー」とい
 う名前のワンちゃんが多いのは、もしかしてここに由来？）。そん
 な戌年にあやかり、新生「おきみゅー通信」もさらなるパワーアッ
 プを目指し頑張ります。本年もどうぞよろしくみゅー！（美ら子）

沖縄県立博物館・美術館 季刊誌

おきみゅー vol.06 冬号

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL 098-941-8200（代表）

〔発行日〕 2018年1月5日

〔編集・発行〕 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

2018年 夏休みの目玉企画（予告）

【博物館】

ティラノサウルス - 進化の謎に迫る -



ティラノサウルス復元画
 （復元画：月本佳代美）

会期：7月13日（金）～9月9日（日）

会場：博物館 企画展示室・特別展示室1.2

概要：全長12mを超えるT.rexの全身骨格やその亜生体と考えられる
 若きティラノサウルス“ジェーン”の全身骨格が沖縄にやってくる！
 本展では、暴君王T.rexを含むティラノサウルスのなかまにスポットを
 当て、「ティラノサウルス類の起源と進化」を様々な資料により解説
 しその生態に関する最新研究を紹介しながら、その謎に迫ります。

【美術館】

追悼水木しげる

ゲゲゲの人生展



会期：7月11日（水）～9月2日（日）

会場：美術館 企画ギャラリー1.2

水木しげるとその作品たち1
 2010年頃 ©水木プロダクション

概要：「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」「河童の三平」などで
 知られる水木しげる。本展では、少年期の習作、戦地
 で描いたスケッチ、漫画や妖怪画の原稿に加え、エッ
 セイ原稿や私物などを一堂に展示します。水木しげる
 の人生に迫る展覧会です。お楽しみに！

夏の企画展は、年間パスポート + 「おきみゅーメンバーズ」で お得に楽しもう！

おきみゅーメンバーズに加入すると...

当館主催の展覧会の年間パスポートとして使えることは
 もちろん、限定オリジナルグッズがもらえたり、ミュージ
 アムショップやカフェでもうれしい特典が受けられます！

※館の愛称決定に伴い、年間パスポート「はくびメンバーズ」の名称を
 2018年4月1日より「おきみゅーメンバーズ」へ変更いたします。

詳しくは当館1F情報センターまで！

